



# 全国で流行中! 手足口病

令和6年7月10日  
富山県感染症情報センター  
(富山県衛生研究所内)  
(0766-56-5431 直通)

## 感染症発生動向速報

(令和6年第27週分・7月1日～7月7日)

### 《インフォメーション》

#### ●手足口病

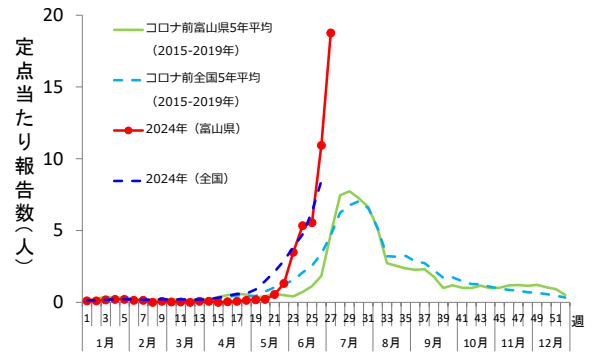
手足口病は、一般に夏季に増加し、例年7月下旬頃(28～30週)に流行のピークを迎える傾向があります。しかし、今年は全国的に5月下旬ごろから増加傾向になっており、例年より流行が早まっています(右図)。

今週の県内の小児科定点医療機関あたりの手足口病の報告数は18.76人となりました。流行警報レベルである5.00人を4週連続で超えており、注意が必要です。

手足口病は、コクサッキーウイルス(CA6、CA16)やエンテロウイルス(EV71)など複数のウイルスを原因とする感染症です。患者の年齢は、4歳位までの幼児を中心に流行が見られ、2歳以下が半数を占めます。特徴的な症状として、手のひらや足の裏、口の中に水疱を伴った発疹がみられます。発熱やのどの痛み、食欲不振などがみられますが、一般的に軽症で、発疹は3～7日で消失します。稀に、幼児を中心に髄膜炎、脳炎、急性弛緩性麻痺などの神経系合併症がみられる場合があります。急に高熱が出たり、おう吐や痙攣(けいれん)、意識がなくなったりするなどの症状が現れた際は、すぐに医療機関を受診してください。現時点で手足口病に対するワクチンや抗ウイルス薬はありません。

感染経路は、患者の咳やくしゃみに含まれるウイルスによる飛沫感染や、便中に排出されたウイルスが手などを介して口から入る経口感染、水疱内容物からの接触感染です。症状がなくなった後も、2～4週間は便からウイルスが検出されることがあります。次のことに注意して感染を予防しましょう。

図. 手足口病患者報告数(全国・富山県)



- おむつ交換やトイレの後、調理や食事の前には石鹸で手を洗う。
- 保育所・幼稚園などの集団生活では、タオルの共用を避ける。
- タオル等の消毒には、アルコールは効きにくいいため希釈した塩素系漂白剤や熱湯を用いる。

### 《全数報告の感染症》

- 二類感染症 結核 1件(20歳代、女性)
- 三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 3件(①20歳代、女性、O157、VT1VT2  
②20歳代、女性、O血清群不明、VT1 ③50歳代、女性、O157、VT1VT2)
- 四類感染症 レジオネラ症 1件(50歳代、男性、肺炎型)
- 五類感染症 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件(90歳代、女性、A群)  
梅毒 1件(40歳代、男性、早期顕症梅毒I期)

### 《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	手足口病	18.76(↑)	10.93
2位	COVID-19	5.31(↑)	2.96
3位	感染性胃腸炎	3.83(↑)	3.69
4位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.55(↑)	3.45
5位	RSウイルス感染症	2.59(↓)	2.93
6位	ヘルパンギーナ	1.45(↑)	1.38



○感染症発生動向調査報告状況（令和6年第27週 令和6年7月1日～令和6年7月7日）

分類	疾患	今週報告分（第27週）						累積報告数（令和6年第1週（1月1日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
二類感染症	結核					1	1	8	2	21	5	29	65	
	（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く					1	1	5	2	11	3	16	37	
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症		1	2			3		1	3	2	3	9	
四類感染症	E型肝炎											1	1	
	レジオネラ症	1					1	1	1	7	1	14	24	
五類感染症	アメーバ赤痢											2	2	
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症							1		2		8	11	
	急性脳炎									1		1	2	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症			1			1	1		3	1	8	13	
	後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）										1	2	3	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症									3	1	2	6	
	侵襲性髄膜炎菌感染症											1	1	
	侵襲性肺炎球菌感染症							2		1		4	7	
	水痘（入院例）							1	1					2
	梅毒					1	1	1			2	4	9	16
	播種性クリプトコックス症											1	1	
	百日咳											1	1	
インフルエンザ／COVID-19定点（48定点）	インフルエンザ	1					1	1,067	1,029	4,035	1,561	5,067	12,759	
	COVID-19	0.14					0.02							
小児科定点（29定点）	RSウイルス感染症	4		59		12	75	32	49	340	35	232	688	
	咽頭結膜熱	2	1	10		12	25	82	246	645	34	647	1,654	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	4	48		5	42	103	165	162	2,402	296	1,133	4,158
	感染性胃腸炎	20	2	27		6	56	111	638	609	1,332	644	3,072	6,295
	水痘					2	2	2	11	103	9	55	180	
	手足口病	13	35	218		44	234	544	46	175	434	60	674	1,389
	伝染性紅斑					1	1	1			7	1	7	16
	突発性発しん		2	2		3	1	8	7	12	78	22	71	190
	ヘルパンギーナ	3	1	15		5	18	42	61	10	40	11	90	212
	流行性耳下腺炎	1		1		1	3	3	3	1	4	2	6	16
	眼科定点（7定点）	急性出血性結膜炎										2		2
		流行性角結膜炎							8	1	27	5	9	50
	基幹定点（5定点）	無菌性髄膜炎										3		3
		マイコプラズマ肺炎									6	1	1	8
感染性胃腸炎（ロタウイルス）										1			1	
入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※1）							21	10	31	48	69	179	
	COVID-19による入院患者	6	2	5	2	2	17	114	107	81	135	356	793	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和5年第36週（9月4日）～の集計です。